

薬物「ダメ。ゼッタイ。」緊急メッセージ

市立中学校３年生の生徒が大麻所持容疑で逮捕される事案が発生いたしました。

この間、京都市教育委員会、全市立学校、保護者、地域で連携し、「薬物は子どもたち一人一人の身近に迫っている」という強い危機意識を共有し、かけがえのない子どもたちの命と未来を守るために、一人一人が当事者意識を持ち、緊張感をもって行動してきた中、この度の逮捕は、誠に慙愧に堪えません。

私たちは、私たちが考えている以上に薬物乱用が広がっていることに強い危機感と、子どもたちの命と未来を守り抜く「京都はぐくみ憲章」の理念を共有し、子どもたちの健やかな学びと育ちに関わるそれぞれの立場で、子どもたちの心に届く取組を進めなければなりません。

私たち一人一人の大人がこうした決意の下、子どもたちの笑顔と幸せ、そして市民生活の安全安心を守るため、次のとおりメッセージを発信し、薬物乱用の防止に向け一致団結して取り組みます。

○ 子どもたちへ

～絶対に大麻をはじめとする薬物を使用してはいけません～

大麻をはじめとする薬物の使用は、脳を壊し、心と体をぼろぼろにし、死んでしまうこともあります。また、自分だけでなく家族や友人など身近な人の人生を狂わせてしまいます。「１回くらいの使用なら大丈夫」「タバコより害が少ない」という情報は間違いです。絶対に大麻をはじめとする薬物を使用してはいけません！

薬物の使用を誘われても絶対に断りましょう。断れなくて怖くなったら、その場から逃げましょう。そして、必ず先生や保護者に相談しましょう。

○ 保護者の皆さんへ

～お子さんに、正しい知識と危険性を伝えましょう～

『自分の子どもは大丈夫』、『うちの子に限って・・・』と思う前に、保護者の責任として、正しい知識をお子さんに伝え、危険から守りましょう。お子さんに「あなたを大切に思っている」ことを伝え、絆を深めましょう。そして、しっかりと見守り、少しでも気になることがあれば、学校や警察に連絡しましょう。

○ 地域の皆さんへ

～気になる子どもを見かけたら、学校・警察に連絡しましょう～

多くの目で子どもたちをしっかりと見守り、少しでも気になる子どもを見かけたら、学校や警察に連絡しましょう。

○ 教職員へ

～強い危機意識を共有し、指導・働き掛けを徹底しましょう～

学校全体で、子どもたちや保護者等に対し、薬物についての正しい知識と危険から身を守る方法について指導・働き掛けを徹底し、子どもたちの小さな変化やささいな兆候を見逃さず、手遅れのない対応と心の通った指導を徹底しましょう。